

○追加特記部・課共通事項

※排ガス対策型建設機械等に関する特記仕様書

本工事において以下に示す建設機械を使用する場合は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(平成17年法律第51号)」に基づく技術基準に適合する機械、または、「排出ガス対策型建設機械指定要領(最終改正 平成22年3月18日付け国総施第291号)」、「排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程(平成18年3月17日付け国土交通省告示第348号)」もしくは「第3次排出ガス対策型建設機械指定要領(平成18年3月17日付け国総施第215号)」に基づき指定された排ガス対策型建設機械を使用するものとする。

ただし、平成7年度建設技術評価制度公募課題「建設機械の排出ガス浄化装置の開発」、またはこれと同等の開発目標で実施された民間開発建設技術の技術審査証明事業、あるいは建設技術審査証明事業により評価された排出ガス浄化装置を装着することで、排出ガス対策型建設機械と同等とみなす。

ただし、これにより難い場合は、監督員と協議するものとする。

排出ガス対策型建設機械あるいは、排出ガス浄化装置を装着した建設機械を使用する場合、受注者は施工現場において使用する建設機械の写真撮影を行い、監督員に提出するものとする。

機 種	備 考
一般工事中用建設機械 ・バックホウ ・トラクタショベル(車輪式) ・ブルドーザ ・発動発電機(可搬式) ・空気圧縮機(可搬式) ・油圧ユニット類 (以下に示す基礎工事中用機械のうち、ベ-スマシとは別に独立した ディーゼルエンジン駆動の油圧ユニットを搭載するもの 油圧ハンマ・バ-イク-ロハンマ・油圧式鋼管圧入・引抜機、油圧式杭 圧入引抜機、ア-ス-ガ-、オ-ルケ-シ-ン-グ 掘削機、リバ-ス-キュー-リ-ヤ-ント-リ-ル ア-スト-リ-ル、地下連続壁施工機、全回転型オ-ルケ-シ-ン-グ 掘削機 ・ロードローラ、タイヤローラ、振動ローラ ・ホイールクレーン ※上記建設機械は、低騒音・低振動型とする。	ディーゼル エンジン (エンジン 出力7.5KW 以上260KW 以下)を 搭載した 建設機械 に限る。

(令和4年4月改訂)

仕様書(共通事項)(そのⅡ)